

発行所 〒160-0017
東京都新宿区左門町11番地6の101
社団法人 大学女性協会
電話 03-3358-2882
FAX 03-3358-2889
http://www.jauw.org
E-mail: jauw@jauw.org
発行人 青木 怜子
編集責任者 端本 和子

J A U W

おもな記事

- 1面 会長あいさつ、第53回通常総会議事録
- 2面 総会開催支部報告、支部長名簿
- 3～5面 事業報告、事業計画
- 6面 守田科学研究奨励賞論文概要、国際奨学生報告会
- 7面 守田科学研究奨励賞贈呈式・募集要項、国内奨学生募集要項、他
- 8面 2009年度決算報告、2010年度予算

第53回通常総会特集

一般社団法人への移行を可決

新緑の美しい五月の静岡で第53回通常総会が開催され、公益法人認定から一般社団法人へ移行が提案され承認された。来年の認可申請へ向けて会員のさらなる理解と協力が求められることとなる。

社団法人 大学女性協会

第53回通常総会議事録

日時：2010年5月9日（日） 9時～16時
場所：ホテルアソシア静岡「駿府の間」
正会員現在数：1176名
定足数：589名
出席者：出席者数 171名、委任状出席者数 539名、計 710名

出席支部：札幌・秋田・仙台・新潟・茨城・栃木・群馬・長野・東京・神奈川・静岡・愛知・金沢・福井・京都・奈良・大阪・神戸・岡山・広島・大分・熊本・福岡・長崎
以上24支部
欠席支部：小樽・函館・福島・岐阜・山口・愛媛・高知・鹿児島
以上8支部

〔午前の部〕

司会 副会長 海老根静江
会議開始 書記 桑折 美子
総会成立確認

2010年5月9日、午前9時現在の出席者数157名、有効委任状数539名、合計696名となり、定款第5章第31条に基づき、正会員現在数1176名の過半数589名以上の出席により、総会が成立することを確認する。

開会の辞 会長 房野 桂
黙 禱 逝去会員9名の冥福を祈って、一同起立、黙禱。
議長承認 定款第5章第29条による

議事

第1号議案 2009年度事業報告
〔第53回通常総会参考書〕
類1 2009年度事業報告

〔2009年度事業報告〕
（2）総務 書記 市川知恵子
（3）委員会 書記 市川知恵子
〔2009年度事業報告〕
（4）14頁 各委員長

※国内NGO委員会・国際婦人年連絡会分野別委員会名称変更について
①平和・開発委員会が平和委員会に変更
②国際・開発委員会が新発足

〔2009年度事業報告〕

（15～29頁）参照
※東京支部の事業報告追加
2009年度全国セミナーにおける調査・研究報告「女性医療従事者の現状と対策」
発表 和代 安代

議長は、第1号議案 2009年度事業報告について承認を議場に諮ったところ、異議なく承認可決された。

第2号議案 2009年度収支決算並びに資産状況
会計 秋月 薫
〔2009年度決算報告〕
収支計算書、収支計算書に対する注記、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録財務諸表に対する注記参照
特記事項
①収支計算書・財務諸表は2009年度より本部と支部を合計して作成。
②固定資産の減価償却については、当年度償却分と過年度（平成9年（平成14年）不足分を



「新しい革袋」を造り、「時」に臨む

会長 青木 怜子

この度14年ぶりに、再度会長に就任することになりました。横浜大会後、JAUWの副会長・会長を9年務めてから、今年で6年が経ちます。正直、14年前の活力はありませんが、大学女性協会が設立以来目指してきた目標が色褪せることなく社会の指針となる限り、その活動に深い共感と憧憬を覚える自分があることに気づかれます。さて、大学女性協会は、法人の組織

本財産を含む協会の資産と事業との関連付け、さらには本部・支部の財政・経理の一体化を図り、公益事業を目的とする団体であることを明らかにしなければなりません。加えて協会の機関連営の明確化も求められます。これについては、すでに前理事会、前々理事会等が、新法人への移行に向けて膨大な作業を進めてくださったお陰で、

本財産を含む協会の資産と事業との関連付け、さらには本部・支部の財政・経理の一体化を図り、公益事業を目的とする団体であることを明らかにしなければなりません。加えて協会の機関連営の明確化も求められます。これについては、すでに前理事会、前々理事会等が、新法人への移行に向けて膨大な作業を進めてくださったお陰で、

替えという国の方針に基づき、静岡総会で一般社団法人の道を選びました。

協会の移行を申請し、認可を待つことになりました。従ってこの一年間は、申請に向けての準備をする重要な期間となりました。

現理事会の仕事は今、最終の詰め段階にあります。今までの基礎的調査や検討に貴重な時間を割き、ご尽力くださった方々に、敬意と感謝を表します。その準備を土台として、現理事会では、まず理事会と委員会の組織とシステムを、従来型から大きく変え、新スタートを図りました。従来の理事会は、委員会委員長が理事を務め、委員会か

私自身も含め、なぜ私たちはこの会の会員であらうとするのか、自らに問うてみたいと思うのです。新たな形態で法人化する会のために、「新しい酒に

私自身も含め、なぜ私たちはこの会の会員であらうとするのか、自らに問うてみたいと思うのです。新たな形態で法人化する会のために、「新しい酒に

組織図

理 事		委員会	
1 会 長 (青木 怜子)			
2 副会長 (事務局担当)	(阿部 幸子)	—— 会員	(福田 文子)
3 副会長 (事業担当)	(高田 武子)	—— 企画	(高田 武子)
		—— セミナー	(高田 武子)
4 理 事 (書記担当)	(桑折 美子)		
5 理 事 (書記担当)	(宮下 好子)		
6 理 事 (会計担当)	(市川知恵子)		
7 理 事 (会計担当)	(田辺 光子)		
8 理 事 (財務担当)	(中山 正子)		
		財務	(中山 正子)
9 理 事 (国際ネットワーク担当)	(牧島悠美子)		
		国際	(穂田 信子) (CIR)
		国内 NGO	(五十嵐康子)
		女性の地位	(平井 和子)
10 理 事 (調査・研究担当)	(鷲見八重子)		
		教育	(長田 満江)
		社会福祉	(縄田真紀子)
		女性の地位	(平井 和子)
11 理 事 (奨学事業担当)	(岩村 道子)		
		国内奨学	(岡部 佳世)
		社会福祉	(縄田真紀子)
		科学研究奨励	(岩村 道子)
12 理 事 (国際支援担当)	(西村寿美子)		
		国際奨学	(平野 和子)
		国際派遣事業・女性人材育成事業	
		留学生と日本文化を学ぶ会	(堀 美知子)
13 理 事 (広報・情報担当)	(端本 和子)		
		広報	(端本 和子)
		情報	(松鹿 光)
14 理 事 (支部担当)	(小澤 紀子)		
15 理 事 (支部担当)	(城倉 純子)		



第53回通常総会ホテルアソシア静岡「駿府の間」(2010年5月9日)

合せて計上。
監査報告 監事 田中トモ子
2010年4月26日、社団法人大学女性協会の2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日まで)における業務監査報告 監事 田中トモ子
加藤恭子監事とともに、本部事務所において収支計算書及び財務諸表につき監査を実施した。
〔監査方法と概要〕
予算書を参考に、収支について帳簿並びに関係書類の閲覧照合など必要と思われる監査手続について監査した。
〔監査意見〕
収支計算書および財務諸表(正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録)は会計帳簿の記載金額と一致し、本社団法人の収支状況及び財産状況を正しく示しているものと認める。
事業監査報告 監事 加藤 恭子
田中トモ子監事とともに本部事務所において事業監査を行った。
〔監査方法と概要〕
理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査方法により、事業計画に基づく業務執行の妥当性について監査した。
事業報告書の内容は事実であると認める。
理事の職務執行に関する不正の行為、または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
加藤恭子監事より、会員の高齢化及び減少はますます深刻化しており、増強策が急務であるとの発言があった。
議長は、第2号議案 2009年度収支決算並びに資産状況及び監査報告についての承認を議場に諮ったところ、異議なく承認可決された。
ここで議長は、午前の部の時間の都合上、第3号議案 2010年度事業計画案に入る前に第4号議案 新理事及び監事選任の件を先に審議する旨議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。
第4号議案 新理事及び監事の選任の件 提案理由 役員選考委員長 田中 正子
理事・監事の全員が任期満了につき改選を要するため、2009年9月理事会で承認された機関

設計に基づき、理事候補者15名および監事候補者2名の選考をおこなった。選考に当たっては、2008年12月6日から施行された「役員選考委員会に関する規程」に基づき、全会員に仮候補者の推薦を依頼した。理事および監事候補者の選考結果は、会報237号（2010年3月25日発行）に掲載。

議長は、定款第15条第1項に基づき、第53回通常総会参考書類記載の理事・監事候補者の選任を議場に諮ったところ、全員異議なくこれを承認し下記の通り選任可決した。

7. 公開講演会、留学生の支援活動を実施する。
8. 会報「JAUW」を発行する。(年4回)
9. 「新春のつどい」を開催する。
10. 教育文化関連の会員事業を実施する。
11. IFUWの決議、方針に従った活動を行う。
12. IFUW総会に参加する。
13. 参加・連携NGO団体の活動に協力する。
14. 会員増強策を講じる。
15. Webサイトの充実を図る。
16. 当協会の資料・発表物のデータベース化を行う。

新理事の担当発表

田中正子 役員選考委員長より、定款第15条第2項に基づく理事の互選がおこなわれた旨の報告があった。

出席者：全理事（15名）、監事（2名）、役員選考委員長及び役員選考委員5名

各役職名は下記のとおりである。

記	
会長	青木 怜子
副会長	阿部 幸子
副会長	高田 武子
書記	桑折 美子
書記	宮下 好子
会計	市川知恵子
会計	田辺 光子
財務担当	中山 正子
国際ネットワーク担当	

団法人への移行を満場一致で可決した。月次報告の発送、臨時評議員会開催、会報J A U W等により、評議員、会員に向けての周知・理解に努めてきた。

議長は、第6号議案 法人選抜の方向（一般社団法人への移行）についての承認を議場に諮ったところ、異議なく承認可決された。

第7号議案 会員資格（短期大学卒業者を含む）

会長 房野 桂
海老根副会長より、2008年12月1日より特例民法法人となっている当協会が、新制度における一般社団法人への移

開催地 支部長挨拶
静岡支部長 鈴木キミエ
謝辞
新潟支部長 宮山 彌生
加藤恭子監事より、今年退任された前理事・監事の紹介があり、謝辞が述べられた。
閉会の辞
副会長 海老根静江
以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人2名は下記に署名押印する。
2010年5月9日
社団法人大学女性協会
第53回通常総会

(4) その他（新会長挨拶）
2010年度事業に向けて

青木 怜子

青木怜子新会長より、
以下の提案とその説明があつた。

2010～2012年にかけて、次のテーマで2010年のシンポジウム、2011年のセミナーを実施したい。

2010年「改めて問う、『国際社会』と連携するNGO活動とは」

2011年「改めて問う、『市民社会』を構成

2010年 シンポジウム
「問う、『国際社会と連携する NGO の活動』とは」
10月30日（土）
仕事の未来館
0014 東京都港区芝5-35-3
03-5444-4151（代表） FAX 03-5444-4152
<http://www.miraikan.go.jp>
三田駅三田口（西口）から徒歩3分
（都営浅草線、都営三田線）三田駅A1出口から徒歩1分

12:10)
メキシコ総会報告
参加した IFUW
に連携する支部活動
感想～
16:00)
演:「国際社会と連携する NGO の活動とは」
前ユネスコ事務局長 松浦晃一郎氏
「私たちに求められる NGO の活動」
主: NGO 団体、JAUW 理事、松浦晃一郎氏

第53回通常総会

16年ぶりに静岡で通常総会が開催されました。5月8日(土)の支部長総会、懇親会、9日(日)の総会、10日(月)のバスツアーすべての日程を、無事終了することができました。

8日夜の懇親会では、ホテルアソシアを会場に、静岡大学生によるガムラン演奏と解説を聞きました。そして、演奏曲目のひとつ「海辺」の作曲家小菅由香里氏がイン

また、大きな課題である
会員の減少・高齢化対策
についても各支部から、解
決への取り組みについて
も意見が出されました。
役員の任期満了に伴い、
新役員の選出も行われま
した。また、11時より1
時間、同会場にて公開講
演会「富士山と世界遺産」
も開催されました。富士
山の歴史、文化についての
話は「富士山、初心者の方
の私たちには大満足の講
演でした」というお言葉

(1) 「2010年度事業計画」 総務	理事	青木 怜子	(新任)
	理事	阿部 幸子	(新任)
	理事	市川知恵子	(再任)
	理事	岩村 道子	(再任)
	理事	桑折 美子	(再任)
	理事	鷺見八重子	(新任)
	理事	高田 武子	(新任)
	理事	田辺 光子	(新任)
	理事	中山 正子	(再任)
	理事	西村寿美子	(新任)
	理事	端本 和子	(再任)
	理事	牧島悠美子	(新任)
	理事	小宮 好子	(新任)
	理事	小澤 紀子	(新任)
	理事	城倉 純子	(新任)
監事	加藤 恭子	(再任)	
監事	野瀬久美子	(新任)	
第3号議案	2010年度事業計画案「第53回通常総会参考書類」2010年度事業計画」参照		

ける新しい法人への移行
申請の準備を進める。

(2) 委員会
「2010年度事業計画」
〔30頁―32頁〕 参照
各委員長

(3) 支部
「2010年度事業計画」
〔33頁―34頁〕 参照
各支部長

札幌支部から栃木支部ま
での6支部が事業計画を
発表し、午前の部を終了。
審議は午後引き続き続く。

公開講演会
11時から12時まで、釧
岡県 文化・観光部世界
遺産推進課主査 望月俊
和氏を講師に招き、「世界
遺産と富士山」と題する
公開講演会が開催された。

調査研究事業担当	鷺見八重子
奨学事業担当	岩村 道子
国際支援事業担当	西村寿美子
広報・情報担当	端本 和子
支部担当	小澤 紀子
支部担当	城倉 純子
第5号議案 予算案	2010年度
財務委員長	中山 正子
「第53回通常総会参考書類」	2010年度収支予算書（正味財産増減計算書）（案）及び（正味財産増減計算書本部内訳表）（案）（39頁～44頁）参照
特記事項	
新公益法人制度における法人格取得に向けての申請には、損益ベースの	

「會員資格」についてはつきりとした會員の意向を知るために、本総会の議案として入れた旨の説明があった。

議決の妥当性、議案内容の正確さについて議場から貴重な意見が出た。

提案理由の理解を得た上で、議長は第7号議案、會員資格（短期大学卒業業者を含む）について採決を求めたところ、過半数により承認可決された。（静岡支部から選挙管理委員として立会人2名・採決要員18名を選出）

採決結果は以下の通りである。

賛成	反対	白票（棄権を含む）
140	8	18

総会出席者 166

議事録署名人	海老根 静江印
議事録署名人	岡部 佳世印
司会	副会長 岡部 佳世
(1) 定款変更案について	房野 桂
特別委員会の定款小委員会の縄田理事が配布資料の定款変更案(素案)の要点を説明した。来年の通常総会まで1年をかけて定款の変更について会員の意見を汲み取りたいと発言があった。第2章目的及び事業、および	

新しい事業：8月のメキシコで開催されるIFUW総会参加者（会員以外の若い学生）への支援

「改題」

日時：2010年11月10日（水）19時30分
場所：女性学館ホール
〒110-8341 東京都港区六本木6-10-1
TEL 03-5780-0111
UR 03-5780-0111
JR 六本木駅
地下鉄有楽町線六本木駅より徒歩5分



世界遺産講演会（総会）

1部（10：00）
・IFU
・私の
・IFU
（）
2部（13：30）
・基調
・講師
・懇話
・発言

場し、会場を沸かせてくださいました。食事もおいしく、演奏も楽しめてよかったです。食事は静岡支部会員が試食をし、和洋折衷のコースを用意しました。会場後方には、本部バザー、IFUWのメキシコ大会のお知らせ、「留学生と日本文化を学ぶ会」の3つのブースが出されました。また、会場入り口では、地元商品が販売されました。

9日の総会では、「公益法人制度改革」社団法人から一般社団法人への移行に関していろいろな意見や質問が出されました。短期大学卒業生の正会員扱いの有無についての議論は白熱しました。

10日のバスツアーでは、牧の原近辺で富士山を見ることができ、現地では、色とりどりの花びを着て、お茶摘みをお楽しみいただきました。早朝3時に社長さんが摘んだお茶の試飲もできました。帰りにベットボトルと集合写真のサプライズプレゼントがありました。

通常総会に向けて、昨年1年間、静岡支部会員は準備を重ねてまいりました。参加された皆様方の、楽しそうに参加されているお顔を拝見し、静岡支部では、安堵する思いでした。静岡まで全国各地からお集まりいただきました、皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

事業計画概要

書記 桑折 美子

1. シンポジウムを実施し、報告書を作成する。
2. 奨学事業（国内奨学金（一般奨学金、ホームズ奨学金、社会福祉奨学金、安井医学奨学金）、国際奨学金）および表彰事業（守田科学研究奨励賞）を実施する。
3. 国内奨学金贈呈式を行う。
4. 国際奨学生の研究報告会を行う。
5. 守田科学研究奨励賞贈呈式を行う。
6. 若手会員育成事業（研究費またはIFUW総会等の旅費援助）を実施する。

議 事

第3号議案 2010年度事業計画案「第53回通常総会参考書類—2010年度事業計画」参照

(3) 支部

「2010年度事業計画」(34頁—38頁) 参照

午後の部の審議は群馬支部から長崎支部までの17支部の事業計画の発表。

議長は、第3号議案2010年度事業計画案についての承認を議場に諮ったところ、異議なく承認可決された。(案)を取る。

けられているため、2010年度収支予算書は平成20年公益法人会計基準を採用。議長は、第5号議案、2010年度収支予算案についての承認を議場に諮ったところ、異議なく承認可決された。(案)を取る。

第6号議案 法人選択の方向（一般社団法人への移行）

会長 房野 桂

趣旨説明

2009年度定例理事会で法人選択の方向についての協議を重ね、11月定例理事会において新公益法人制度における当協会の選択肢として「非営利性が徹底された一般社

賛成	495	以上をもつて通常総会のす べての議案の審議は終了し た。 懇談 別項に記載
反対	44	
無効票	31	
出席者合計	736	
賛成合計	635	
反対合計	52	白票（棄権を含む） 合計
無効票合計	18	
31	18	

次期総会開催地について
 第54回通常総会は、
 2011年5月15日 岡
 山において開催する。
 次期総会開催承諾の要請
 岡山支部長 渡邊 子

(2) 基本財産について
房野 桂
財務委員長の中山理事が決算書のP12を参照して基本財産・特定資産について説明した。特例民法法人から一般社団法人への移行時に基本財産を特定資産に移動し、新たな純資産額を基礎に計算した公益目的財産額をもとに公益目的支出計画を作成することになると発言があった。

(3) IFUW総会について
藤村久美子
IFUW総会について、IFUWメキシコ総会に

2010年度 支部長名簿		2010年度 理事・監事名簿	
支部名	氏 名	役職名	氏 名
小 樽		会 長	青 木 怜 子
札 幌	村 上 和 美	副 会 長	阿 部 幸 子
函 館	野 又 紀美子	副 会 長	高 田 武 子
秋 田	川 口 百合子	書 記	桑 折 美 子
仙 台	谷地森 涼 子	書 記	宮 下 好 子

島	山	彌	生		計	市	川	知恵子
新	宮	純	子		會	田	辺	光子
茨	城	民	子		財	中	山	正子
栃	増	朋	美		務	牧	島	悠美子
群	岡	崎	卜		担	鷺	見	八重子
長	三	田	紀		当	岩	村	道子
東	小	澤	子		國際 ネットワーク 担当	西	村	寿美子
					調査研究事業担当			
					奨学事業担当			
					国際支援事業担当			

神奈川	伊藤	藤下	恵いづみ	広報・情報担当	端本和子
静岡岡	山田	田純	子	支部担当	小澤紀子
愛知寺	柳生	裕子		支部担当	城倉純子
岐阜阜	山田	由和		監事	加藤恭子
金沢井	亀田			監事	野瀬久美子
福京都					

【敬称略】

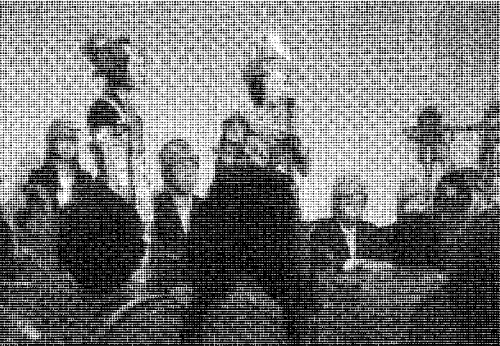
尋子子子子
千佳和年幸あけみ
川山村邊村川
關勢松渡吉早
良阪戸山島口媛
奈大神岡広山愛

高知	子恵美	野田	林
大分	三喜	堂	大
熊本	方子	栗	和
福岡	和子	田	梅
長崎			
鹿児島			

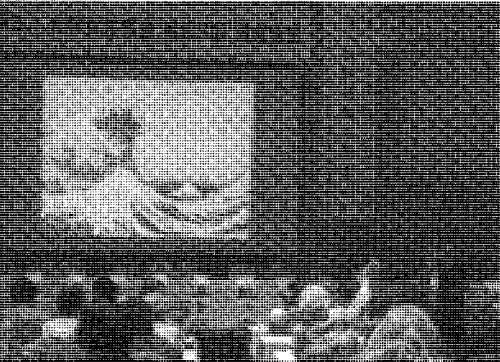
【敬称略】

第53回通常総会開催支部報告

実行委員長 山下 いづみ



ガムラン演奏と小菅由香里氏（懇親会）



世界遺産講演会（総会）

岡支部会員の試食をし、和洋折衷のコースを用意しました。会場後方には、本部バザー、IFUWのメキシコ大会のお知らせ、「留学生と日本文化を学ぶ会」の3つのブースが出されました。また、会場入り口では、地元商品が販売されました。

9日の総会では、「公益慈善法人制度改革」社団法人からの一般社団法人への移行に関していろいろな意見や質問が出されました。短期大学卒業生の正会員扱いの有無についての議論は白熱しました。

いたできました。早朝3時に社長さんが摘んだお茶の試飲もできました。帰りにペットボトルと集合写真のサブライズプレゼントがありました。

通常総会に向けて、昨年1年間、静岡支部会員は準備を重ねてまいりました。参加された皆様方の、楽しそうに参加されているお顔を拝見し、静岡支部では、安堵する思いでした。静岡まで全国各地からお集まりいただき、皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございます。



挨拶をする鈴木前静岡支部長

2010年度		理事・監事名簿	
役職名		氏	名
会 長	青	木	怜 子
副 会 長	阿	部	幸 子
副 会 長	高	田	武 子
書 記	桑	折	美 子
書 記	宮	下	好 子
会 計	市	川	知恵子
会 計	田	辺	光 子
財 務 担 当	中	山	正 子
国際ネットワーク担当	牧	島	悠美子
調査研究事業担当	鷺	見	八重子
奨学事業担当	岩	村	道 子
国際支援事業担当	西	村	寿美子
広報・情報担当	端	本	和 子
支 部 担 当	小	澤	紀 子
支 部 担 当	城	倉	純 子
監 事	加	藤	恭 子
監 事	野	瀬	久美子

【敬称略】

支部名	氏 名
小樽	
札幌	村上和美
函館	野又紀美子
秋田	川口百合子
仙台	谷地森涼子
新潟	宮山彌生
茨城	城倉純子
栃木	増渕民子
群馬	岡崎朋美
長野	三田コト
東京	小澤紀子
東神奈川	伊藤藤恵
静岡	山下いづみ
愛知	寺田純子
岐阜	
金沢	柳生裕子
福井	山田由美
京都	亀田和代
奈良	関川千尋
大阪	勢山佳子
大神戸	松村和子
岡山	渡邊年子
広島	島吉幸子
山口	媛あけみ
愛媛	
高知	
大分	林野美恵子
熊本	大天堂喜三子
福岡	和栗方子
長崎	梅田和子
鹿児島	

【敬称略】

本部事務所 2009年4月(2010年3月) JAUW2009年度シ...

女性地位委員会 高田 素子 事業報告(2009年度) 1.委員会開催7回...

社会福祉委員会 縄田 眞紀子 事業報告(2009年度) 1.定例会開催11回...

広報委員会 端本 和子 事業報告(2009年度) 1.委員会5回開催...

情報委員会 松鹿 光 事業報告(2009年度) 1.委員会:7月18日(通...

函館支部 野又 紀美子 事業報告(2009年度) 1.委員会:7月18日(通...

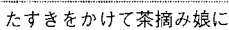
新潟支部 宮山 彌生 事業報告(2009年度) 1.委員会:7月18日(通...

福島支部 佐伯 邦子 事業報告(2009年度) 1.委員会:7月18日(通...

秋田支部 佐伯 邦子 事業報告(2009年度) 1.委員会:7月18日(通...

支部報告 小樽支部 出口 好子 事業報告(2009年度) 1.委員会:7月18日(通...

文部省新年会、青沼美撫
 文部会報発行(6/15)
 文部会による筆曲演
 奏、ミニバザー(1/24)
 文部会奨励金を送る
 パーラーに奨学金を
 福岡県女性海外研修事
 業、女性研修の翼に
 JAW福岡支部推薦に
 より参加
 役員会(年4回)
 他団体との交流
 三水会との合同企画によ
 る講演会開催
 ワークライフバランス
 子どもの育ち」講師
 山崎 澄子氏
 福岡市暴力追放推進会議
 出席(7/31)
 累計画(2010年度)
 4月支部総会
 て他の事業は支部総会
 で決める





青木会長（中央）、両受賞者を囲む関係者（2010年6月5日）

第12回 大学女性協会
守田科学研究奨励賞
贈呈式

科学研究奨励委員会委員長 岩村道子

第12回守田科学研究奨励賞の贈呈式が、6月5日にアルカディア市ヶ谷で行われた。受賞者は、大阪大学微生物病研究所助教授の小根山千歳博士（分子腫瘍学）と富山大学理工学研究部准教授の小林かおり博士（分子分光学）である。

小根山博士は1993年に大阪大学理学部化学科卒業、1995年同大学大学院理学研究科博士前期課程を修了し、2003年に学位（博士（医学））を取得されている。協和発酵工業（株）バイオサイエンス研究所分子腫瘍学部門特別研究員等を経て、2007年4月大阪大学微生物病研究所発癌制御研究分野助教授に就任されている。

小林博士は、1993年に東京大学理学部化学科卒業、1995年に同大学大学院理学研究科修士課程を修了し、1999年に学位（博士（理学））を取得されている。祝賀会では、受賞者の研究を指導なさった来賓の先生方から受賞者の紹介や賛辞のお言葉をいただいた。小根山博士のご夫君から

は、奥様の研究に打ち込んでいらっしゃるお姿が微笑ましく、また、ご家庭と両立されながら今後も研究に精進してほしいとの励ましのお言葉をいただきました。小林博士のご夫君は急病になられたお子様の看護のためにご出

席なされなかったが、お母様から博士の研究を日々サポートなさるご夫君への感謝の言葉と博士への心温まらした。今回は受賞祝賀会に引き行われた。

第13回大学女性協会守田科学研究奨励賞

受賞候補者募集要項

趣 旨：本賞は、化学教育者・故守田純子氏から遺贈された資金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として、1998年に設けられたものです。

対 象：自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、科学の発展に貢献することが期待される40歳未満（応募締切日現在）の女性科学者を対象とします。

授賞件数：年2件以内
賞状および副賞50万円を贈呈します。

提出書類：1. 研究題目とその概要、今後の展望および抱負（A4版2頁以内）
2. 推薦状
3. 履歴書（写真添付）
4. 研究業績リスト
5. 主要な論文別刷り5編以内、それぞれ3部（論文別刷りはコピーでも可、返却しません）

応募締切日：2010年11月30日（火）（必着）
書類送付先・連絡先：社団法人 大学女性協会
〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6-101
Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889
http://www.jauw.org
e-mail: jauw@jauw.org

2010年度 (社)大学女性協会国内奨学生募集要項

本協会国内奨学金は、女性的高等教育向上と研究生活を奨励し、文化の発展に貢献するため、優秀な女子学生に教育資金または研究資金を与えることを目的とし、1948年に設立されたものである。なお、本奨学金は一般奨学金・社会福祉奨学金・安井医学奨学金の3部門からなる。

I 応募資格

一般奨学生 文部科学省の認可する大学の大学院に在籍1年以上の女子学生で、人物・学業ともに優れた者。（なお、一般奨学生のうち女性、教育、国際協力に関する研究をしている学生1名は、本協会の設立に寄与されたルル・ホームズ氏を記念してホームズ奨学生とする）

社会福祉奨学生 文部科学省の認可する大学（短期大学を除く）の学部・大学院に在籍1年以上の女子学生で、身体に障害があり、かつ人物・学業ともに優れた者。

安井医学奨学生 医学、薬学、看護学などを専攻する大学院に在籍1年以上の女子学生で、人物・学業ともに優れた者。

備考 1 大学から各部門1名ずつ応募することができる。

過去に当協会の奨学金を授与された者は、再度応募することはできない。

II 奨学金支給額及び募集人員

一般奨学生 大学院生 1名につき 20万円 6名（ホームズ奨学生を含む）
社会福祉奨学生 学部生 1名につき 10万円 学部生、大学院生あわせて3名
大学院生 1名につき 20万円 以内とする。
安井医学奨学生 大学院生 1名につき 30万円 1名

備考 応募状況により奨学生の人数に多少の変更もありうる。

奨学金はいずれも1回限りである。

III 提出書類

- (1) 「履歴書」（所定のもの、写真貼付）
- (2) 「奨学金交付調書」（所定のもの）
・記入者は在学する大学の学長・学部長・学科長・指導教員のいずれかであること。
- (3) 在学する大学の交付する「学業成績証明書」
- (4) 「研究・勉学の内容について」
・大学院生は、所定の様式Aに従って【A4判横書1200字程度】にまとめること。
・学部生は、所定の様式Bに従って【A4判横書1200字程度】にまとめること。
- (5) 「研究および活動業績リスト」（所定のもの・大学院生のみ）
- (6) 「身体障害状況調書」と障害者手帳の写し（所定のもの・社会福祉奨学生のみ）

備考 所定の用紙は、当協会ホームページから、ダウンロードできる。

IV 応募手続

応募者は、必要書類を所属大学の学長に提出し、必ず学長の承認（奨学金交付調書に捺印）を得ること。

V 出願締切日

2010年9月3日（金）までに、東京都ならびに本協会支部が設置されていない県の大学は本協会本部に、支部が設置されている道府県の大学は当該支部に書類を提出すること。（当日消印有効）

VI 選考

支部宛に提出された書類は支部で選考して、本部に提出する。本部においては、提出された書類を選考委員会で選考し、その結果を理事会に諮って決定する。

選考の結果は、推薦支部長、本人の在学する大学学長、および本人に、2010年11月末日までに通知する。

VII その他の留意事項

- (1) 一般奨学金、社会福祉奨学金、安井医学奨学金を授与された者は2012年3月31日までに本協会会長宛に「研究成果報告書」を提出すること。
- (2) 贈呈式は2011年1月上旬の予定。（詳細は後日通知する）
- (3) 不明の点については本部に照会のこと。

社団法人 大学女性協会
会 長 青木 伶子
国内奨学委員長 岡部 佳世
社会福祉委員長 細田真紀子

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番地6の101
TEL 03-3358-2882 FAX 03-3358-2889
http://www.jauw.org e-mail: jauw@jauw.org

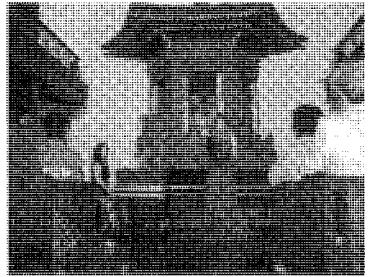
女性作曲家シリーズ 岡部 佳世（前副会長）

「バロック時代の女性作曲家たち～求道会館で聴く歌とチェンバロ」

本郷にある求道会館（東京都指定有形文化財）では、その個性的な建築空間に満席の聴衆を迎えて美しい音色が響き渡っていました。2010年3月20日（土）の午後のことです。この大学女性協会主催の女性作曲家コンサートは、新法人への移行という将来的な視点に立った事業収入増加の可能性を探るための一事業として提案され、一年間の準備期間を経て実現された企画でした。

房野桂会長の挨拶、国立音楽大学名誉教授小林緑氏のお話「バロック時代の女性と音楽」を皮切りにコンサートは始まりました。ソプラノに櫻田智子氏、古楽器チェンバロ演奏に松岡友子氏という海外での活躍も目覚ましい実力派が、若々しいトークを挟みながら、第1部「イタリア語の歌を中心に」、第2部「チェンバロ独奏曲とカンタータ」の作品を熱演しました。音楽と武田五一設計の建築空間が織りなすハーモニーに誘われて、聴衆の思いは、遥か遠くフランチェスカ・カッチーニ、セツティーミア・カッチーニ、カテリーナ・アッサンドラ、バルバラ・ストロツツイ、アントニア・ベンボ、マリアンネ・マルティネス、ヨゼファ＝バルバラ・フォン＝アウエルンハマー、エリザベト＝クロード・ジャケ＝ドラグールという女性作曲家たちが、綺羅星のごとく生き生きと活躍したバロック時代のベニス、フィレンツェ、パリ、ミラノ、ボローニャ、ウィーンへと、時空間を超えて旅しました。

将来、女性作曲家コンサートシリーズが協会の事業として位置づけられ、皆さまとともに再びあの贅沢な時間を共有することができますならば、今回の企画はその第一歩としての役割を十分果たしたと言えます。この場をお借りしまして、スタッフの皆さま始め、ご協力いただきましたすべての方々にお礼申し上げます。（特記：チケット販売枚数220枚、当日入場者数200名、一般へのチケット販売状況は極めて好調につき、短期間に完売しました。）



《理事会から》

- 第54回通常総会は2011年5月15日（日）岡山において開催されます。
 - 2009年度寄付（敬称略、2万円以上）
源氏物語を読む会Ⅰ、Ⅱ各2万円（東京支部）ほか、多くの方からご寄付をいただきました。
 - 2010年 シンポジウムは2010年10月30日（土）女性と仕事の未来館で行われます。
 - 若手会員育成金
中島美那子会員、平間充子会員の2名に。
 - 会費納入のお願い
今年度の会費未納の方はお早めにお納め下さい。
- 〈訂正とお詫び〉
セミナー報告書
懇親会司会 松崎園子→松崎園子

新入会員 (13名)

2010年1月～6月（理事会承認）

茨城支部	静岡支部
幅 昌子	小 西 潤子
栃木支部	奈良支部
高 畑 優子	星 田 久仁子
東京支部	安 田 恵子
Andrea Landis	神 戸 支部
大 川 薫 代	池 田 説 子
大 園 瑛 子	澤 田 信 子
小 林 かおり	寺 本 郁 子
野 田 恭 子	



